



苗木の大事な新梢の生育を、
重要害虫から守りきる。

重要害虫の食害、即効ストップ・徹底阻止で、
新梢の伸長を健全に！



アゲハ類



ミカンハモグリガ



ユキヤナギアブラムシ
産卵・産卵後調査センター
びんご研究所



ゴマダラカミキリ

かんきつ・果樹・
茶用殺虫剤

日産

イクシレル® SE

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT



卓効成分シアントラニプロール (通称:サイアジピル®)
ならではの優れた即効性、長期残効、浸透性、耐雨性

幅広い害虫への
高い効果

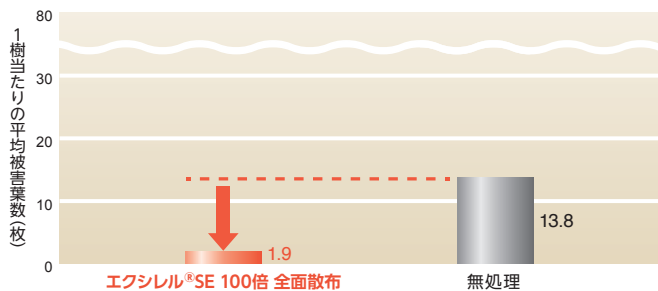
ミツバチ、土着天敵、魚類への
高い安全性

アゲハ類、ミカンハモグリガから長期間新芽を守る

エクシレル[®]SE100倍処理の圃場ではアゲハ類、ミカンハモグリガへの優れた効果により、2ヵ月後でもきれいな展葉が確認できました。

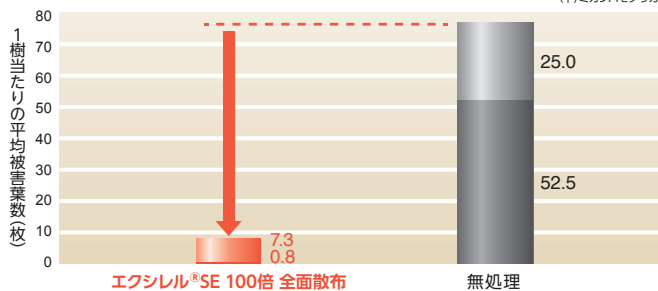
●アゲハ類に対する効果

【散布約1ヵ月後(5月19日→6月14日)】



●アゲハ類/ミカンハモグリガに対する効果

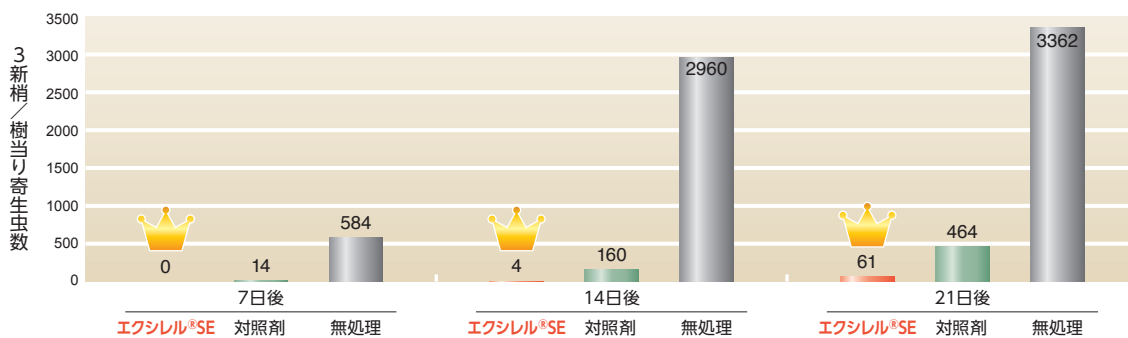
【散布約2ヵ月後(5月19日→7月26日)】



2016年 愛媛県農林水産研究所果樹研究センター【試験概要】◎品種:伊予柑(1年生苗木)◎定植:4月11日◎高濃度散布:5月19日 ◎1ヵ月後調査:6月14日 ◎2ヵ月後調査:7月26日

ユキヤナギアブラムシも同時防除

●ユキヤナギアブラムシに対する効果



2018年 山口県農林総合技術センター
【試験概要】◎品種:青島温州3年生(苗木)◎区制:1区1樹3反復 ◎処理日8月17日 ◎処理方法:畜圧式噴霧器を用い1樹当たり0.5ℓを樹冠散布した。◎調査日:8月24日、31日、9月7日 ◎調査方法:1樹当たり3新梢をラベルし、寄生虫数を調査した。◎考察:エクシレル[®]SEは対照薬剤に比べ優る効果が認められ、無処理と比較して高い効果が認められることから、実用性は高いと考えられた。薬害は認められなかった。

処理のポイント

苗木全体にムラなく散布する。特に夏芽や、夏芽が出てくる部分には薬液を十分にかける。



※高濃度散布の場合は、結果樹には絶対にかけないでください。天候や樹勢などにより、まれに軽微なスポット症状が発生しますが、時間とともに程度は軽減します。

●散布量(1樹あたり)の目安について

1年生	70~100ml程度
2年生	150~200ml程度
3年生	200~300ml程度

適用害虫と使用方法(適用表から一部抜粋)

2022年10月26日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アゲハ類、ケムシ類、ハマキムシ類、アザミウマ類、ミカンハモグリガ、ミカンキジラミ、ヨモギエダシヤク、ケシキスイ類、ゴマダラカミキリ成虫、チャノミドリヒメヨコバイ、コアオハナムグリ、ハスモンヨトウ、カネタタキ	5000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ(苗木)	ミカンハモグリガ、アゲハ類、ゴマダラカミキリ成虫、アブラムシ類	100倍	30~500ml/樹(但し、130ℓ/10aまで)	育苗期			

その他の適用作物:りんご、もも、ネクタリン、なし、おうとう、ぶどう、ブルーベリー、小粒核果類(すももを除く)、すもも、いちじく、マンゴー、茶

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。●防除日誌を記帳しましょう。

©2022 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

EXI-SHN2A



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝日除く)

製品情報は
こちらから▶

